

高橋廣江 たかはし ひろえ ナランズ文學者。明治二十九年十一月十五日岐阜縣
 生れ、昭和二十七年八月二十日歿（一八九一—一九五二）。大正十五年慶應義
 塾大學卒。同大豫科教授、岐阜學藝大學教授歴任。

譯書、シヤルル・ボードレーユ作『ロシヤの憂鬱』（昭和二年十一月十
 五日青郊社。普及版・九年十一月八日外語學院出版部）、ポオル・ヴ
 アレリイ著『現代の考察』（昭和八年五月二十一日第一書房。再刊。
 二十八年四月二十日ニッセ書房『ニッセ文庫』）、ヤンドレ・ジイド著
 『オペレテクスト』（佐藤朔共譯、昭和九年九月十八日金犀堂）、ジヨ
 ルジュ・クワツプ著『ゴゴヤ傳』（昭和十八年二月二十日甲信書林）、
 ヤルギーユ・チボオデ著『ブルグソンの哲學』（昭和十八年十一月一
 十日ニ田文學出版部）、ボオドレーユ作『巴里の憂鬱』（昭和二十四
 年一月二十日思索社「思索選書」）等。

著書『マルセル・プルウストー研究・評論』四人集』（合著・福岡益
 雄編、昭和八年十月十五日金犀堂）、隨筆『ソソリの生活』（昭和十四
 年九月一日第一書房）、『文化と風土』（昭和十五年九月九日青光
 社）、隨筆『旅行の旅の思い出』（昭和十七年十二月二十日大和書店）、
 『ロヴヤレリーの世界』（昭和十八年五月二十日生活社「生活選書」）
 等。